

国際交流センター

NEWSLETTER

Sep. 2021 Vol. 64

留学生からのメッセージ

今年の秋卒業の海外から留学にきていた学生が奈良女子大学で過ごした感想を寄せてくれました。



奈良女子大学で学んだこと

王珊（オウ シャン）
人間文化総合科学研究科 博士前期課程
化学生物環境学専攻

私は2018年4月から研究生として奈良女子大学に入学しました。

最初、日本語能力が低かったため、専門の日本語を勉強したり、研究室の皆さんと日本語で話したり、大変でした。指導教員と研究室の先輩たちに恵まれて、日本語は日ごとに上達し、一年半後に大学院入学試験に合格でき、無事に大学院に進学しました。奈良女子大学のチューター制度のおかげで、同級生の日本人たちと友達になれ、勉強や生活などあらゆる面で支えられました。

私は入学してから化学コースの研究室に所属しており、毎日実験したり、データ処理したり、指導教員、研究室のメンバーと実験結果に対して議論したりと充実した研究生生活を過ごしてきました。研究室の日本人の学生たちが優しく、日本語の間違いを指摘してくれたり、文章の言葉をチェックしてくれたり、生活に関するさまざまなことを助けてくれたりしました。先生たちはいつも他の人より力をかけて、日常生活で優しく接していただき、専門知識を詳しく熱心に教えていただきました。指導教授の吉村先生に研究で厳しく指導していただき、3年間半でたくさん日本語でプレゼンテーション能力を磨く機会をいただき、貴重な学会発表の機会に恵まれて、8件発表しました。この中で、沖縄で行われた国際学会に参加し、世界中での研究者の間に学術交流の熱意と雰囲気を感じました。また、研究生の1年間と修士の2年間に9回大型放射光施設SPring-8を利用し、X線小角散乱（BL40B2, BL19B2）とX線反射率（BL37XU）の実験を行いました。高輝度のX線を用い、普段目に見えない構造を知ることができ、「不思議な場所」で大変勉強になりました。本当に先生と研究室のメンバーに心から感謝しております。こんな有意義な留學生生活を送ることができ、人生の貴重な宝だと思います。

修士一年後半から新型コロナウイルスが世界中で流行し、大変でしたが、大学のコロナ対策に基づいて研究室の指導教員にいろいろなことを調整していただき、研究と修学上に支障なく、修士論文の作成と審査を無事に終えることができました。留學生奨学金、コロナの期間に留學生対象緊急学生生活支援金をいただき、経済的負担に不安を抱えることなく、研究に専念することができました。支給していただいた方および組織に感謝しております。

留學生生活ではたくさん困難があると思いますが、1つ1つ立ち向かって、解決していきましょう。皆様の良い留學生生活をお祈りしています。奈良女子大学で学んだことを活かして、今後、いろいろな場面に役立つように頑張りましょう。



Okinawa Colloid 2019
(コロイドおよび界面化学討論会
第70回記念国際会議)に参加した時に
会場(万国津梁館)の前で
吉村教授と一緒に

Inside This Issue



留学生からのメッセージ



アフガニスタン関連



留学生のためのインターンシップ



CotoQueイベント



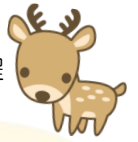
そらみつ・ビジネス日本語



夏休み！海外オンライン研修

速かった三年半

李欣（リィン）
人間文化総合科学研究科 博士前期課程
住環境学専攻



私は「もっと専門知識を身につけたい、視野を広げたい」という目標を持って日本へ来ました。奈良女子大学に来たきっかけは、宮城先生という先生を知って、その先生の下で勉強したかったからです。しかし、入学試験に参加しようとしたところ、宮城先生が退職してしまいました。奈良女子大学を諦めようと思いましたが、建築専門の長田先生と連絡を取り、研究生として、入学しました。今振り返って、本当に良かったと思います。

研究生の時は、奈良に住んでいなかったです。東京で先生の建築事務所ですインターンシップをしながら、先生の下で勉強しました。色々な事務経験をもraitたいと考えて、東京に滞在したかったからです。学校に対して、その状況も初めてですが、長田先生と国際課の先生は私の気持ちを理解して、東京で勉強することを認めて、ビザ申請の時も色々サポートしてくれました。本当に有り難いです。

半年後、入学試験に合格して、ようやく奈良へ来ました。大学院の三年間、日本語が良くないので、つらいと感じた瞬間はたくさんあっても、授業を楽しんで受けました。東大寺を見学するとか、奈良を紹介するビデオを作るとか、奈良女子大学の新寮設計プロジェクトにも参加できました。授業外は研究室の皆さんと、学校でバーベキューしたり、ゼミ旅行で一緒に中国の上海と杭州へ行ったり、建築見学を見に行ったり、本当に楽しかったです。卒業設計の時も、友だちを呼んで、一緒に模型を作って、その記憶は一生忘れないです。授業がない日、国際交流センターが行われた活動にも楽しんで参



入学式

加しました。私は茶筌見学、生け花教室などを通して、日本文化を体験しました。もちろん、春休み中も日本と東南アジアへ旅行して、より文化の違い、建築の多様性を深く感じました。それは実際に行かないと、感じられないと思います。

奈良女子大学で、国際交流活動もたくさんあります。夏休み中の短期留学や、交換留学などが毎年行なわれています。それは日本人学生だけでなく、留学生も申請できます。私はヨーロッパの建築や歴史に興味を持って、ベルギーの大学を申請しました。2020年9月行く予定でしたが、残念なのは新型コロナウイルスという全世界で感染症が出た原因で、ヨーロッパへの交換留学が行けなくなって、オンラインで交換留学しました。残念ですけど、こんな貴重な機会を与えてくださった学校に、心から感謝しています。



茶筌制作の様子

奈良女子大学の生活がそろそろ終わりますが、ここで学んだこと、感じたこと、出会った人は、私に対して人生の宝物だと思います。コロナが終わったら、いつか両親を連れて、奈良で旅行したいです。奈良のこと、奈良女子大学の生活などを紹介するつもりです。奈良女子大学での三年半が速かったですけど、この留学を通して、今までの人生を新しい視点で考えることができ、人生は唯一の正しい道じゃなく、色々な可能性があると思うようになりました。これからも自分の道を探しながら、歩いていきます。卒業しても、また遊びに来ます。



奈良女子大学で得た新しい経験

DONG THI HONG THUY (ドゥンティホンツイ)
人間文化総合科学研究科 博士前期課程
言語文化学専攻

新型コロナウイルスの影響で留學生活の予定が大幅に遅れ、研究活動のほか日本での観光や活発な国際交流を楽しみにしていた私は、寒さ深まる晩秋に来日し、14日間の隔離期間経ることから留學生活が始まった。

感染拡大の状況下では自由な活動が制限され、人と知り合うことが難しく、頼りたくても断られることもあり、つらい思いをした。

しかし、このような難しい状況の中でも助けてくれたり、協力してくれる友人や先生に出会うことができました。温かな気持ちに救われ、研究活動の目標も達成することができた。短い留學生活だったが、これまでに経験できなかった、新鮮で濃密な時間を過ごせたと思う。

目まぐるしく変わる社会の中で、今後も様々な困難に遭うだろうが、私には奈良女子大学で得た新しい経験と、かけがえないご縁がある。それらを大切に、経験を活かしながら、自分の夢を叶えるために次のステップに進んでいきたい。

留学生のためのインターンシップ



2021年9月13日（月）～17日（金）の5日間の日程で、奈良県農業法人協会と山口農園にご協力いただき、留学生のための課題解決型インターンシップを行いました。10名の参加者は、期間中、3グループに分かれ、オンラインで課題に取り組みました。

9月14日（火）にはフィールドワークとして、有機野菜だけでなく、たくさんの有機ハーブも生産している山口農園（奈良県宇陀市）を訪れました。現地では、最初に日本の有機農業の現状や山口農園の取り組みなどについて座学を受け、その後、ビニールハウスでサラダ水菜の収穫と出荷までの作業を体験しました。最後には、橿原市にある山口農園の野菜を販売しているスーパーに立ち寄り、青果担当の方から話を聞く機会を得ました。



最終日の9月17日（金）には、3グループそれぞれが最終プレゼンテーションを発表し、最優秀のグループには表彰状が送られました。5日間のインターンシップを通して、「課題解決力」や「提案力」の面で自分が成長したと感じた学生が多かったようです。

「そらみつ」「ビジネス日本語」

国際交流センターでは、毎年夏に海外協定校の女子学生を対象にサマープログラム「MAHOROBA」「万葉」として、短期集中プログラムを実施しています。しかし、今年度もCOVID-19の世界的流行およびそれに伴う海外渡航制限のため、サマープログラムの実施は見送らざるを得ない状況になりました。そこで、代替プログラムとして、海外協定校で日本語を学習中の学生を対象としたオンラインプログラム「そらみつ」と「ビジネス日本語集中講座」を開催しました。

「そらみつ」プログラムは、奈良女子大学教授陣の講義をオンラインで受講し、奈良と日本の伝統・文化についての理解を深めることと、奈良女子大学学生とオンラインで交流することで参加学生の日本語の学習の一助となることを目的として実施しました。ベトナム・アメリカ・中国・台湾・ドイツ・ロシア・ベルギーからの学生が参加し、初級コースを12名、中・上級コースを30名の学生が修了しました。講義では、「少女漫画とジェンダー」「日本の温泉文化」「アジアの文字」「災害と日本人」「人口減少と過疎化」「日本語言語学」「万葉集」「オリンピックと高校野球」など多岐に渡るテーマで授業を受け、担当の先生に対して疑問点をその場で質問したり、参加学生同士で意見を交わしたりしながら学びを深めました。また、参加学生の日本語能力向上のために、Public SpeakingやGroup Presentationの時間を設け、出来る限り日本語で話をしてもらえらる機会を作りました。Public Speakingの前には、奈良女子大学の学生とペアになり、スピーチの練習を含めた交流を行い、参加学生も奈良女子大学の学生も、お互いに話をしながら楽しい時間を過ごすことができました。Public Speakingでは各自興味のあるテーマについて3分間スピーチを行いました。非常に流暢な日本語で各自の意見をしっかりと説明できていました。参加学生同士のスピーチを聞くことで新しい発見があったり共通の関心事に気づけたりと、大変有意義な時間となりました。来日がかねわす残念ではありましたが、オンライン上で交流を深め、また日本について学習もできる大変爽りのあるプログラムであったと思います。



奈良女子大学の授業を受けてみませんか？

この授業は、奈良女子大学で授業を受ける留学生に限定して実施している授業です。授業内容は、日本語の学習だけでなく、日本の文化や社会について学ぶことができます。授業はオンラインで行われ、参加費は無料です。興味のある方は、お問い合わせください。

お問い合わせ先：国際交流センター
TEL: 074-361-2111
Eメール: international@nara-u.ac.jp

「ビジネス日本語集中講座」は、日本での就職や母国での日系企業に就職を考える留学生が対象のプログラムです。実践的なシチュエーションを交えてビジネスメールを書く練習や就職活動時に必要となる自己PRの練習をするだけでなく、日本の企業文化や日本人のコミュニケーションについても学ぶことができます。この講座には、海外協定校で日本語を学んでいる20名の学生が参加し、3日間の講座を修了しました。受講した学生からは、「今後の就職活動にすごく役に立つのでよかった」「日本語だけでなく、日本文化や奈良のイベント情報について知ることができた」「いろいろな国の人と交流することで視野が広がった」「この講座で勉強したことを今後も生かしていきたい」などの感想が寄せられました。3日間という短い時間でしたが、楽しみながらたくさんの知識を得ることができたようです。



アフガニスタン関連

2021年9月11日(土)、国際交流センター客員センター員の中道貞子先生がアフガニスタン情勢の急変を鑑み、関西在住の3名で「私たちが積み上げてきたものからいま、アフガニスタンを考える」の内容で講演会を開催されました。当日は、これまでアフガニスタンで撮影してきた写真を紹介しながら、それぞれの活動について報告するとともに、今後のアフガニスタン支援について考え、「アフガニスタンを見捨てないでほしい」とのメッセージを送られました。

また、2021年9月12日(日)の産経新聞朝刊に、中道先生のインタビュー記事が掲載されました。国際交流センター前に掲示されていますので、ぜひご覧ください。

国際交流センターの部屋には、中道貞子先生の著書である「中道ママ アフガンに行く!」「中道ママ バーミヤンに行く!」があります。貸出も可能ですので、興味のある方は読んでみてください。



中道先生が書かれた本



N棟1階
国際交流センター前の掲示

CotoQueイベント

2021年7~9月の期間もCotoQueイベントが開催されました。

English Open Talk、韓国語オープントーク、そして「チェミ!」は不定期開催ですが、参加希望者が多く、人気のイベントになっています。

後期も様々なイベントの実施を計画しています。現在、人数の制限等があるため、ほとんどのイベントで事前予約が必要になります。国際交流センターのtwitterやHP、manabaのコミュニティ「目指せ、国際人!!」、国際交流センター(N103)前の掲示板でも案内していますので、ぜひチェックしてみてください。



国際交流センター twitter

<https://twitter.com/NWUIEC2014>



サイト「ならじょ」から留学

<http://www.nara-wu.ac.jp/iec/abroad/>

manaba登録方法



manaba folioにログイン

↓
マイコミュニティを選択

↓
コミュニティをさがす

↓
「目指せ、国際人!!」



夏休み! 海外オンライン研修



2021年8月16日(月)より、「夏休み! 海外オンライン研修」がスタートしました。今回は、「セブ」「タイ」「オーストラリア」「ハワイ」「自由枠」の5つのコースが用意されました。英語力の向上や学生交流、各国の文化、SDGsについて学ぶ等、のべ102名の学生がそれぞれのコースを受講し、修了しました。

春休みにも国際交流センター主催のオンライン研修を予定しています。11月末から12月上旬頃に説明会を開催予定です。国際交流センター前の掲示板やtwitter、manabaでも案内しますので、ぜひ参加してください。

センター及び国際課の活動

7/5	CotoQueイベント「English Open Talk」
7/14	CotoQueイベント「韓国語オープントーク」
7/19~23	そらみつFirst (Basic Japanese Course)
8/2~6	そらみつSecond (Intermediate-Advanced Japanese Course)
8/9~11	ビジネス日本語集中講座
8/16~20	夏休みオンライン研修「セブA」
8/23~26	夏休みオンライン研修「オーストラリア」
8/23~9/3	夏休みオンライン研修「タイ」
9/6~9	夏休みオンライン研修「ハワイ」
9/9	CotoQueイベント「チェミ」
9/13~17	夏休みオンライン研修「セブB」
9/13~17	留学生のためのインターンシップ



奈良女子大学 国際交流センター

NEWSLETTER Vol.64 2021年9月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3736

Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp